

令和8年度

福島県立医科大学大学院

医学研究科災害・被ばく医療科学共同専攻(修士課程)

12月募集

入学試験問題

**【注意事項】**

※ 解答はすべて別添解答用紙に記入してください。

※ 解答用紙には必ず受験番号を記入してください。

令和8年度 福島県立医科大学大学院  
医学研究科災害・被ばく医療科学共同専攻（修士課程）12月募集  
入学試験問題

東日本大震災からの教訓をまとめた文書（出典は下記）によると、日本の災害対策をさらに効果的に改善するには、以下の3点が特に重要とされています。

出典：日本・世界銀行共同プロジェクト：「大規模災害から学ぶ」東日本大震災からの教訓、2012.

(1) 政府・自治体、専門家、地域社会は、災害リスクの評価及びコミュニケーションを、トップダウンではなく双方向で実施するなど改善しなければならない。

(2) 国・県・市町村、市民社会団体、民間の間での連携が、現場でより効果的に機能するよう改善する余地がある。

(3) 高齢者、子どもおよび女性など災害弱者のニーズや問題をきちんと把握し、適切に対応することは緊急時と復旧過程において優先されるべき事項であるが、ここにも改善の余地がある。

上記の3点に関して、具体的に今後どのように改善したら良いか、あなたの考えを述べなさい。